

平成 20 年度（2008 年度） 第 1 回 運営委員会記録

豊中市教育センター

日 時 平成 20 年（2008 年）6 月 26 日（木） 15 時～16 時 30 分  
会 場 豊中市教育センター 研修室 1  
出 席 者 若菜委員長 青柳副委員長 青木委員 景山委員 佐渡委員 藤原委員  
榎原委員 橋本委員 生駒委員 北尾委員 津田委員 井坂委員  
越桐委員 柿本委員  
十河所長 鈴木副所長 大屋副主幹 井角係長 佐藤係長 瀧谷指導主事  
欠 席 者 角井委員 豊島委員  
進 行 佐藤係長  
傍 聴 者 なし

運営委員紹介（副所長）

所長挨拶

委員長・副委員長選出 委員長 = 若菜昌一委員・副委員長 = 青柳隆委員

1．開会の挨拶（委員長）

2．案件

（1）本年度の教育センターの組織・運営について（所長）

教育センター全般についてパワーポイントにて説明

- ・ 研修の普及について
- ・ 地域との連携
- ・ 教育相談の状況について
- ・ 医療的ケアの状況について
- ・ ジュニアメイトの派遣、拡充について
- ・ センターの利用状況について
- ・ サタデーサポートの状況について
- ・ 研究協力員制度について
- ・ 支援学級設置状況について
- ・ 校内 LAN 整備の推進について
- ・ 理科支援員について
- ・ とよなか学びプロジェクトについて

## ( 2 ) 本年度の事業計画

### ( 研究・研修係 )

- ・ とよなか学びプロジェクト研修について
- ・ 初任者研修について

### ( 教育相談係 )

- ・ 教育相談への対応について
- ・ ジュニアメイト派遣について
- ・ 教育相談研修について
- ・ 大阪府教育研究所連盟・冊子作りについて
- ・ 関係機関との連携について

### ( 養護教育係 )

- ・ 障害児教育連続研修について
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修について
- ・ 巡回相談について
- ・ 就学相談について
- ・ 医療的ケアの状況について

### ( 情報・科学教育係 )

- ・ 研修について ( 理科教育、理科教材、情報教育 )
- ・ 校内 LAN 設置状況について
- ・ ノートパソコン、プロジェクターの配備について
- ・ 情報モラルについて

## 質疑・意見

### ( 研究・研修係 )

- ・ まなびプロジェクトの予算がついたのは大変よかった。しかし、研修は希望者だけの参加では意味がない。多くの人に参加できるよう、幅広い話を講師にも望む。全ての先生が参加できる環境を整え、全校に情報が伝わるように考えてほしい。

まなびプロジェクトは義務教育課にもついている。学校の研修にも予算をつけている。

まなびプロジェクトという予算で講師を呼び、各学校で行う形と教育センターで企画して大きな会場で行う形と 2 通りある。

- ・ ブロック交流研修については、研修主題を設けて学校総体として取り組む学校を育ててほしい。学校あげての研究が豊中は弱いので、これを支援するような場にしてほしい。ブロック交流研修は、豊中市を北・中・南・東の 4 ブロックに分け、ブロックごとに研究授業、( 保育 ) および研究授業を主体とした校内研修会を公開し、課題の共有、異校種

間連携を図るとともに、豊中市の授業改善の推進に資するものである。

また、国・府の指定を受けた取り組みでは、「実験・観察融合型デジタル教材活用共同研究」の研究協力校として、第八中学校と上野小学校が研究を進めている。デジタル教材だけを扱うのではなく、観察・実験とを融合させた授業を小・中学校等で実践し、子どもたちの理科に対する興味・関心を高めるとともに、確かな学力の定着をねらいとする取り組みである。

- ・学校としてどういう子どもを育てたいか、統一テーマを持って取り組むことが豊中は弱い。学校でお互いに切磋琢磨して、学びあう場がないと教師が育たない。そういう場がほしい。
- ・研修の内容も充実してきた。各研修に対象者がどれだけ参加するかが問題である。タイトルにひと工夫があってもよいのではと思う。

#### (教育相談係)

- ・教育相談の長期化、不登校の増加傾向をどう捉えているのか。昨年だけなのか。明らかな傾向として表れているのか。

現状の確認、データの収集をしている。5年間の傾向の状況は確認している。発達遅滞、自閉傾向の子どもは増加している。

不登校は中学校にスクールカウンセラーが配置された段階で、のべで減少傾向にあった。今は横ばい状態である。

長期化している現状については、いろいろな課題が含まれているので、1つの課題を解決しても次の課題が出てきて終わらない。発達相談は保護者が正面から向き合うのに時間がかかる。そのことが長期化につながっている。

- ・センターの相談が信頼を得られてきた。1~2回でなく、繰り返し長期化ということは信頼されてきたことだと思う。

#### (3) その他

- ・サタデーサポートについて

土曜日の午前中、先生方もどんどん来てほしい。そのとき、助言者がいたほうがいい。定年になられた方、エキスパートの方にボランティアに来ていただき、若い先生と交流する場ができればいい。

### 3. 閉会